

環境社会学会第 63 回大会プログラム

2021 年 6 月 12 日(土)・13 日(日)オンライン開催

<6 月 12 日(土)>

13:00～15:00 【企画セッションA】

福島原発事故「低認知被災地」の汚染・対応・負担：茨城・栃木・宮城の自治体アンケート調査から考える
嶋原敦子(東北大学)、蓮井誠一郎(茨城大学)、清水奈名子(宇都宮大学)、原口弥生(茨城大学)
コメンテーター 小澤喜蔵(原発事故当時・茨城県小美玉市放射線対策統括室室長)

15:15～17:15 総会および奨励賞表彰式

<6 月 13 日(日)>

9:00～12:00 【自由報告部会】 司会 古屋将太(環境エネルギー政策研究所)、土屋雄一郎(京都教育大学)

自由報告 1 SDGs をく大衆のアヘン>から、グローバル企業権力に贈られた<トロイの木馬>にできるか？
——グローバル資本主義システムの正統化危機における地球環境問題の構図

岡野内正(法政大学)

自由報告 2 環境問題を扱う文理融合・超学際型の研究実践の類型化

大谷通高(総合地球環境学研究所)・太田和彦(南山大学)

自由報告 3 中国の廃品回収業参入に関する探索的検討

前田 豊(信州大学)・金太宇(関西学院大学)

自由報告 4 河川の水は誰のものか？

——イラン・ザーヤンデルドの水利権と正当性をめぐる言説と実践からの検討

西川優花(日本学術振興会・日本貿易振興機構アジア経済研究所)

13:00～15:00 【企画セッションB】

コンクリートと社会

山下博美(立命館アジア太平洋大学)・丸山一平(名古屋大学)・湯浅陽一(関東学院大学)・
岩城一郎(日本大学)・浜本篤史(早稲田大学)・川口暢子(愛知工業大学)

15:15～16:45 コロナ禍の環境社会学を考える自由集会